

平成25年度 能美学童野球連盟各大会要綱

1. 2013年公認野球規則及び学童規則を適用する
2. 使用球は、(財)全日本軟式野球連盟公認C球を使用する(トップボール)
3. 試合は7回までとし、試合成立は5回とし、コールドゲームは5回以降7点差とする(決勝戦のコールドゲームは適用しない)
(降雨コールドゲームも、5回終了にて成立するものとする。引き分けの場合再試合とする)
4. 試合時間は1時間45分とする。1時間45分を超えて新しいイニングには入らない(時間優先、ただし決勝戦は時間制限なし)
5. 試合終了後、同点の場合は特別ルールを適用する。(次ページ参照)
6. 1投手の投球回数は1日7イニングまでとする(延長戦は除く)(1/3イニング制は適用しない)
7. ヘルメットは打者、次打者、走者、ランナーコーチ共に着用すること。
8. 捕手は、レガース、プロテクター、ヘルメット、マスクを着用する
(ピッチング練習、シートノック、攻守交替時の捕手についてもレガース、プロテクター、ヘルメット、マスクを着用すること)
9. 捕手は、今年度より股間用保護具(カップ)の着用が義務付けとなりました(控え捕手も含む)
女子選手は着用しなくても良いです
10. 野球用具は全軟公認のものであること
11. ゲーム中の抗議は、監督並びに当該選手に限り認めるが、試合進行に協力すること。
12. タイムは、攻守それぞれ3回までとする。

《その他の留意事項》

1. 選手登録(ベンチ入り)は1チーム20名以内とする。
2. 背番号は選手0~27、主将10、監督30、コーチ28・29とする。
3. 主将には、背番号に10番とユニホームの前面に(主)マークをつけること
4. ベンチ入りの大人は、監督・コーチ・スコアラー・責任者等を含めた計5名までとする。
(ユニホーム姿の大人は3名(30, 29, 28)とし、それ以外の方は私服、チーム帽子着用にて入ること)
5. 監督・コーチは、選手と同一のユニホーム、スパイクを着用のこと(選手と意匠をそろえること)。プロ野球選手等がはいている裾幅の広いズボンは禁止です。
6. リストバンド、テーピング等の使用は認めない(ただし、テーピングの必要がある場合はメンバー表交換時に申し出る事)
7. 今年度よりバッティンググローブ、守備用手袋については着用可能となりました。ただし色は白か黒とする。バッティンググローブについては、走者となったときは外さなくて良いですが、外す時はしっかりポケットにしまう事。コーチャーに渡す行為はしないでください。
8. ベンチは、組合せ抽選番号の若い方が1塁側とする。
9. 試合前のアップについて、トスバッティング、フリーバッティング、バント練習などバットを使用してのアップは禁止します。第一試合のチームで早めに球場入りしアップを行う場合は、アップシューズにて行き、シートノック前に速やかにスパイクに履き替えて下さい。第二試合以降のチームは、アップ時間が短いためスパイクで行っても良いです。
10. ブルペン使用について、次試合チームのブルペン使用はトス完了後より行ってください。ただし先発ピッチャーのみです。現試合中のチームと次試合のチームお互いに調整して使用してください。
11. シートノックは、初日および準決勝戦で行う(後攻チームより5分間)
12. 攻撃に移るときは、第一打者、次打者、ランナーコーチの4名はミーティングに入らないで直ちに所定の位置へ付くこと

13. 各チームは前の試合の4回終了時までには集合の事（遅刻は失格とみなします）
14. メンバー表は4部提出とする。4回終了時に両監督、主将立会いで交換する。
15. 節度ある応援に努め、個人に対するヤジは慎むこと。
鳴り物での応援（笛、太鼓、ペットボトル、うちわ、メガホン等）は禁止します。
16. 試合後のグラウンド整備は両チーム、応援席の整備は当該チームがあたること。
17. 選手は必ずスポーツ傷害保険に加入していることとし、ゲーム中事故が生じた場合は、主催者は応急処置をするが責任は無いものとする。
18. 組み合わせにより、塁審及び記録にあたるチームの係は試合に遅れないように注意すること。
19. 開会式の行進は、アップシューズまたはズックを履くこと。
20. 抽選会は、監督・主将もしくは、代理・選手が参加すること。
21. バットボーイ・ボールボーイ・得点表の係りは、必ずヘルメットを着用すること。
（ファールボールを取りに行く等、ベンチから出る場合は必ずヘルメットを着用すること。）
22. 原則として、三塁側を給水、一塁側をボールボーイ・得点表の係りとする。またボールボーイ係・得点係は控え選手が任務にあたるものとする。
23. 放送室に入る係りの方は各チーム2名までとする。
24. ネクストサークル内での素振りは禁止とする。
25. 投球練習時、ベンチ前での素振りを禁止とする。
26. 一般のバット使用は認める。
27. 左袖には石川の文字しか入れないこと。
28. 連盟・スポ少のワッペンは、その年度内だけ使用しても良いこととする。
29. 選手宣誓は、各大会の抽選会で予備抽選1番くじを引いたチームの主将とする。
ただし新人大会以降に一度選手宣誓しているチームが1番くじを引いた場合は、2番くじを引いたチームの主将へスライドする。

《シード制の適用について》

1. 新人大会の優勝、準優勝チームは、次年度の**春季大会**のシード権を得る。
2. 春季大会の優勝、準優勝チームは、当年度の**夏季大会**のシード権を得る。
3. 夏季大会の優勝、準優勝チームは、当年度の**秋季大会**のシード権を得る。

《特別ルールについて》

7回を終了して同点の場合は、8回より特別延長戦を行う。

※特別延長戦について

継続打順で、前回の最終打者を1塁走者とし、2塁、3塁の走者は順次前の打者とする。

すなわち、無死満塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。

勝敗が決しない場合は、さらに継続打順でこれを繰り返す。なお、通常の延長戦と同様に規則により認められた選手の交代は許される。

《審判の給水について》

1. 給水は三塁側で行います。
2. 給水を行う回については、当該チーム同士で決めて下さい。
3. 給水を行う際には、放送をして下さい

平成25年7月改定